

【令和6年度 適性検査Ⅰ 解答例】

研究1	課題1	(例) 「昨日」という言葉が「買った」と「食べました」のどちらをくわしくしているのかが、はっきりしないということが原因です。											
	課題2	簡単 と 親切											
	課題3	(例) Aで一文だったものがBで三文に区切られているように、文は短くしたほうがいいということ。											
研究2	課題1	(例) あきらさんの黒石は、 $180 \times \frac{7}{12} = 105$ 105個 みどりさんの黒石は、 $180 \times \frac{5}{12} = 75$ 75個 2人の黒石の個数の差は、 $105 - 75 = 30$ 30個になる。 みどりさんの黒石は、あきらさんの黒石より30個少ないから、まずは、みどりさんに白石を30個配って2人の石の個数を同じにする。 残りの白石は、 $150 - 30 = 120$ 120個で、その120個を2人で等しく分けると、 $120 \div 2 = 60$ 60個 60個の白石をそれぞれ2人に配る。 あきらさんの白石は、60個 みどりさんの白石は、 $30 + 60 = 90$ 90個 あきらさんの黒石 (105) 個、白石 (60) 個 みどりさんの黒石 (75) 個、白石 (90) 個											
	課題2	表 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>周の数 (周)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>いちばん外側の周に並んだ石の個数 (個)</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>44</td> </tr> </table> 説明 (例) いちばん外側の周に並んだ石の色は、周の数が奇数のときに黒、偶数のときに白となるので、周の数が偶数であるときのいちばん外側の周に並んだ白石の個数を考える。 表から、2周目は20個、4周目は36個である。 1周増えるごとに石が8個増えるから、 6周目は、 $44 + 8 = 52$ 52個 8周目は、 $52 + 8 + 8 = 68$ 68個 10周目は、 $68 + 8 + 8 = 84$ 84個となる。 白石の個数は、 $20 + 36 + 52 + 68 + 84 = 260$ 260個 はじめの形の2個をたして 262個 10周目の形をつくるのに、白石は全部で (262) 個必要	周の数 (周)	1	2	3	4	5	いちばん外側の周に並んだ石の個数 (個)	12	20	28	36
周の数 (周)	1	2	3	4	5								
いちばん外側の周に並んだ石の個数 (個)	12	20	28	36	44								

研究 3	課題 1	<p>(1)</p> <table border="1"> <tr> <td>ユーラシア (大陸)</td> <td>オーストラリア (大陸)</td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>(2)</p> <table border="1"> <tr> <td>(図 2)</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>記号</td> <td>イ</td> <td>エ</td> <td>ア</td> <td>ウ</td> </tr> </table>	ユーラシア (大陸)	オーストラリア (大陸)	(図 2)	①	②	③	④	記号	イ	エ	ア	ウ
	ユーラシア (大陸)	オーストラリア (大陸)												
	(図 2)	①	②	③	④									
記号	イ	エ	ア	ウ										
課題 2	<p>(例)</p> <p>大日本帝国憲法では、天皇が主権をもち、日本国憲法では、国民が主権をもつ。</p>													
課題 3	<p>(例)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人物</th> <th>おこなったこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大隈重信</td> <td>国会の開設に備え、立憲改進黨をつくった。</td> </tr> <tr> <td>小村寿太郎</td> <td>条約改正に成功し、関税自主権を回復させた。</td> </tr> </tbody> </table>	人物	おこなったこと	大隈重信	国会の開設に備え、立憲改進黨をつくった。	小村寿太郎	条約改正に成功し、関税自主権を回復させた。							
人物	おこなったこと													
大隈重信	国会の開設に備え、立憲改進黨をつくった。													
小村寿太郎	条約改正に成功し、関税自主権を回復させた。													
研究 4	課題 1	<p>(例)</p> <p>体積が小さくなった空気は、もとの体積にもどろうとする性質。</p>												
	課題 2	<p>記号</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <table border="1"> <tr> <td>①</td> </tr> </table> </div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>理由</p> <p>(例)</p> <p>モンシロチョウは、キャベツの葉にたまごを産むために飛んでくるから。</p>	①											
	①													
課題 3	<p>(例)</p> <p>紅茶に砂糖をとかず前に、砂糖、紅茶が入った容器、スプーンの全体の重さをはかる。砂糖や紅茶をこぼさないように、スプーンで混ぜて砂糖をとかず。砂糖をとかした紅茶が入った容器とスプーンの重さをはかって、紅茶に砂糖をとかず前と、とかした後の全体の重さを比べる。</p>													